

アジア太平洋3R推進フォーラム第6回会合 議長サマリー(概要)

1. 全般

モルディブ共和国環境エネルギー省及び観光省、日本国環境省、国連地域開発センター(UNCRD)によって、2015年8月16日~19日の間、モルディブ共和国マレ市において、「3R産業 - アジア太平洋地域における資源効率社会及び持続可能な観光開発に向けた次世代3Rの方向性」をテーマに、第6回アジア太平洋3R推進フォーラムを共同開催した。

会議は、国連環境機関・国際資源パネル(UNEP-IRP)及び国際環境技術センター(IETC)、モルディブ共和国環境保護庁、日本国国際協力機構(JICA)・J-PRISM、国際環境戦略機関(IGES)、南アジア環境協力計画(SACEP)、太平洋地域環境計画事務局(SPREP)などのさまざまな機関からの協力を得て開催された。

会議には、アジア太平洋地域を主に39カ国から、政府閣僚等、300名を超える参加者が出席した。

2. 会議

開会式では、モルディブ共和国から、アフムド・アディーブ・アブドゥル・ガフル副大統領、トリク・イブラヒム環境・エネルギー大臣、アリ・アミール環境・エネルギー省政務官、我が国から、小里泰弘環境副大臣、また、国際機関として、高瀬千賀子UNCRD所長、野田章子モルディブ国連常駐調整官がスピーチを行った。

会議では、以下の内容等について、参加者から発表を行うとともに、議論を行った。

- ・ アジア太平洋地域の3R動向と展開の進化~ポスト2015年開発コンテキストにおける重要性
- ・ スマート、レジリエント、包括的、低炭素で持続可能な都市とコミュニティ構築における3Rインターフェイスの有効化
- ・ 3Rを通じた経済的機会の牽引~アジア太平洋諸国のためのウィン-ウィン戦略
- ・ 小島嶼開発途上国(SIDS)における持続可能な観光開発に向けた3R及び資源効率の恩恵
- ・ ハノイ3R宣言(2013~2023年)の実施に関する各国の主な実績と取組
- ・ 廃棄物と真水の関係~アジア太平洋地域における水の安全保障のための3R

- ・ 拡大生産者責任及び持続可能な資源管理のための産業エコロジー助成金
- ・ アジア太平洋 3 R 白書 ~ 国家及び地域レベルでの 3 R の効果的な実施に向けた政策意思決定を手助けする報告書

我が国環境省からは、我が国の廃棄物処理と 3 R に係る経験や先端技術、最新の政策についての情報提供やハノイ 3 R 宣言の実現に向けた取組事項の報告を行うとともに、OECD が行っている拡大生産者責任に関するガイダンスの更新作業についての情報提供を行った。

我が国が提案した「アジア太平洋 3 R 白書」については、出版物の意義、目的、構成、データ収集など現在の検討状況が報告された。これに対し、参加者から賛同を得られるとともに、参加国に対しては同白書策定のための貢献が要請された。

3 . サイドイベント等

会議に先立ち、モルディブ共和国政府によって、2 つの調印式が開催された。「モルディブ共和国 3 R デー ~ 私たちの環境、私たちの経済、私たちの未来」では、99 のモルディブ国内民間リゾート企業が、持続可能な観光開発とグリーンエコノミー実現を目的とした、「地域環境と海洋生態系の保護に向けた 3 R と資源効率性の推進に関する宣言」(マレ 3 R 宣言) に署名を行った。また、モルディブ国内自治体が、廃棄物管理に積極的に取り組むことを誓った「モルディブ共和国における都市及びアトールカウンシルによるサフラジェ宣言」に調印した。

そのほか、「アジア太平洋都市間の重層的なパートナーシップと協力に関する 2015 年マレワークショップ ~ 2014 年千葉ワークショップの成果を基にスマートで、強靱で、包含的、低炭素な、持続可能な都市とコミュニティをめざして」、「第 6 回アジア 3 R 市民フォーラム ~ アジア太平洋の島々における 3 R の取組に基づく、つながりのあるコミュニティの創造」、UNEP-IRP 等による資源管理、リサイクル、リマニュファクチャリングなどについてのイベントも開催された。

会場には、多数の我が国循環産業事業者を含む民間事業者等が 3 R 及び資源効率性分野における技術や先進性などを紹介する国際 3 R 展示会が併設され、多くの参加者が来場した。

4 . その他

次回会合については、オーストラリアがホストすることが発表され、モルディブ共和国からオーストラリアへの引き継ぎセレモニーが行われた。